

令和3年度 下妻市の予算

令和3年第1回市議会定例会(3月議会)で、下妻市の令和3年度当初予算が決まりました。一般会計の予算額は、182億7,000万円で、前年比9.34%の増。特別会計と公営企業会計を合わせた予算の総額は309億4,874万円で、前年比5.75%の増となっています。

この特集では、第6次下妻市基本計画に基づいた主な予算について紹介します。

令和3年度 市長施政方針

持続可能なまちづくりの実現に向けて



下妻市長
菊 池 博

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が長期化する中、感染症対策の最前線で日夜奮闘をされている医療従事者や介護関係者の皆様、感染拡大防止にご協力をいただいていた市民や事業者の皆様に、改めまして敬意と感謝を申し上げます。

今後開始予定の新型コロナウイルスワクチンの接種につきましては、2月10日に「新型コロナウイルスワクチン接種対策室」を保健センター内に設置したところであり、全効で準備に取り組んでまいります。

さて、令和3年度は、市长就任から4年目となり、一期目の最終年度を迎えるようとしています。これまで、市政運営については、常に「連携」「スピード感」「見える化」を課

題解決のキーワードとして、さまざまな行政課題に取り組んでまいりました。民間活力の面では、エスティローダーカンパニーズなど大手企業3社の進出決定によるしもつま鯨工業団地の完成、PayPay、大塚製薬などとの包括連携協定により公民連携のまちづくりを強化してまいりました。

また、災害の備えとしては、防災行政無線を補完する屋内受信機の導入や総合体育館及び千代川体育館へのエアコン設置、市庁舎等整備工事の発

注、下妻市公式LINEの運用を開始しております。

さらには、子育て世代・高齢者応援券事業「しもつま工

ール2020」をはじめ、地域経済の活性化を図ることを目的としたプレミアム付商品券事業などを迅速に進めてまいりました。

5つの基本方針

令和3年度においても、市长就任時に掲げた5つの政策である「市民が主役のまちづくり」「元気な下妻づくり」「子育て・教育環境の向上」と高齢者・障害者にやさしい地域づくり」「安心・安全なまちづくり」「行財政改革の推進」を進めるににより、下妻に住みたい、住み続けたいと思う持続可能なまちづくりの実現に

向けて、大胆にチャレンジしてまいります。

さらに、子育て世代・高齢者応援券事業「しもつま工

ール2020」をはじめ、地域経済の活性化を図ることを

目的としたプレミアム付商品券事業などを迅速に進めてま

いりました。

さらに、子育て世代・高齢者応援券事業「しも